

## 病害虫発生予察 6 月 月 報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

6月の気象表(長野地方気象台発表)

官 署		平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長野	本年	22.0	21.1	22.3	0.5	111.5	34.0	95.8	43.0	48.0
	平年	19.0	20.2	21.1	17.0	32.9	59.3	67.4	56.7	41.4
松本	本年	22.3	20.9	22.3	0.0	122.5	42.0	99.3	40.0	42.2
	平年	18.7	19.9	21.0	19.3	42.4	64.0	65.6	55.8	42.3
諏訪	本年	21.3	20.1	20.8	0.5	169.0	86.0	89.4	41.8	37.0
	平年	17.9	19.0	20.2	23.1	53.9	87.2	65.2	54.4	40.2
軽井沢	本年	17.5	17.5	17.1	2.0	160.0	70.0	75.5	42.3	20.3
	平年	14.4	15.7	16.8	26.4	55.3	73.9	60.7	49.5	34.7
飯田	本年	22.0	21.2	22.3	0.5	173.5	137.5	85.0	47.6	41.1
	平年	19.1	20.2	21.5	36.3	63.2	103.7	60.8	51.0	39.6

上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、中旬と下旬は梅雨前線や湿った空気の影響により曇りや雨の日が多く、大雨となった日もありました。太平洋高気圧が日本の南で西へ張り出し、暖かい空気が入りやすかったため、月平均気温はかなり高くなりました。上旬を中心に晴れて強い日差しの影響を受けた日もあったことから、県内12カ所の観測地点で月平均気温の高い方から6月として観測史上1位を記録しました。気象庁予報部は、「関東甲信地方は、6月11日ごろ梅雨入りしたと見られる」と発表しました(速報)。

### 1 麦

#### (1) 生育概況

第1表 麦の生育状況(須坂市:農業試験場作物部)

品 種 名	区 分	出穂期	成熟期		
			稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m <sup>2</sup> )
ファイバースノウ (大麦)	平年	4/30	90	5.0	467
	前年	4/29	89	4.3	469
	本年	5/ 1	99	4.3	391
シラネコムギ (小麦)	平年	5/ 7	87	8.4	510
	前年	5/ 9	102	8.5	630
	本年	5/ 7	81	8.0	450

<耕種概要>播種期:大麦 2019年11月5日 小麦 2019年11月5日  
注) 平年値は過去7ヵ年における最大値と最小値を除いた5ヵ年の平均値

#### (2) 病害虫の発生状況

##### 1) 麦類赤かび病

7月上旬の長雨で、刈り遅れの小麦に発生がみられたが、発生程度はわずかであった。

##### 2) さび病

小麦のさび病は、南信、北信の一部地域で発生が多いほ場がみられた。

##### 3) うどんこ病

大麦ではうどんこ病の発生は確認されなかった。小麦では、中南信で発生が多かった。

##### 4) 小麦の土壤伝染性ウイルス病(コムギ縞萎縮病、コムギ萎縮病)

全県の発生面積は昨年とほぼ同程度であったが、一部の地域で発生が多く、甚発生のは場もみられた。

## 2 水 稲

#### (1) 生育概況

第2表 イネの生育状況(須坂市:農業試験場作物部)

品 種 名	区 分	移植後20日			移植後30日			移植後40日		
		主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>
あきた こまち	平年	6.6	27	199	8.4	36	428	9.7	50	596
	前年	6.0	25	172	7.5	27	316	9.3	39	586
	本年	6.4	28	240	8.3	43	475	9.6	51	636
コシヒ カリ	平年	6.6	30	214	8.1	36	430	9.7	49	649
	前年	6.2	26	147	7.5	29	301	9.4	43	612
	本年	6.4	30	289	8.4	48	558	9.6	56	640

\*移植期:2020年5月20日

\*平年:2013~2019年のうち収量の最多、最少を除く7中5年の平均値

第3表 イネの生育状況(原村:農業試験場原村試験地)

品 種 名	区 分	移植後20日			移植後30日			移植後40日		
		主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/株	主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/株	主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/株
ゆめし なの	平年	5.9	30	103	7.5	35	220	9.0	51	456
	前年	5.4	28	70	7.4	33	142	9.0	50	253
	本年	6.1	37	89	7.6	41	218	9.1	55	414

\*移植期:2020年5月26日

(2) 病害虫の発生状況

1) いもち病

葉いもち感染予測モデル「BLASTAM」によると、6月の感染好適条件の出現頻度は平年に比べてやや多かった。6月下旬の調査では葉いもちの発生は確認されなかったが、7月上旬の調査で、山間部で発生の多いほ場がみられた。

2) ニカメイチュウ

小布施町に設置したフェロモントラップへの誘殺は確認されなかった。

上田市の予察灯では、5月下旬から6月下旬にかけて誘殺され、誘殺頭数はほぼ平年並であった。

第4表 ニカメイチュウ成虫のフェロモントラップ誘殺消長 (小布施町)

月・半旬	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
平 年	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
本 年	0	0	0	0	0	0

\*平年は過去10年の平均

第5表 ニカメイチュウ成虫の予察灯による誘殺消長 (上田市)

月・半旬	5・4	5・5	5・6	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
平 年	1.0	1.4	5.1	2.6	1.9	3.1	2.8	1.2	1.6
本 年	0	2	1	0	4	3	1	1	0

\*平年は過去10年の平均

3) ツマグロヨコバイ

第1世代成虫は、予察灯による誘殺数も少なく、平年並からやや少ない発生であった。

4) ヒメトビウンカ

6月下旬の畦畔すくい取り調査において、一部の地域でヒメトビウンカ成虫が平年に比べて多く捕獲された。

5) イネミズゾウムシ

アメダス気温データによる越冬後成虫の半数出現時期は、ほぼ平年並と推測されたが、一部の地域ではやや早まった。6月の巡回調査における越冬成虫寄生頭数は平年に比べて多く、被害度が高かった。

6) イネドロオイムシ

6月の巡回調査では、一部のほ場で発生が多く、被害度の高いほ場もみられた。

7) セジロウンカ

予察灯による誘殺は、6月中の誘殺はなく、飯田市で7月2日、南木曾町

で7月3日、須坂市で7月7日にそれぞれ1頭づつ初誘殺され、平年に比べてやや早かった。また、7月上旬のネット20回振調査では、一部の地域で平年に比べてやや多かった。

8) トビイロウンカ

これまで、予察灯による誘殺は確認されなかった。

9) カメムシ類

予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺頭数は、6か所中4か所が多く、うち3か所は平年に比べて誘殺時期が早かった。また、畦畔のすくい取り調査における斑点米カメムシ類の捕獲頭数が平年に比べて多かった。(7月13日注意報発表)

3 りんご

(1) 生育概況

第1表 りんごの果実肥大状況 (須坂市：果樹試験場) (単位・mm)

調査日	つがる								ふじ							
	縦 径				横 径				縦 径				横 径			
	本年	比	平年	前年	本年	比	平年	前年	本年	比	平年	前年	本年	比	平年	前年
6/1	26.9	97	28.0	26.2	29.5	105	28.0	25.9	25.3	94	26.9	27.4	25.0	96	26.0	25.4
6/15	38.5	100	38.6	38.4	43.9	106	41.2	40.1	34.2	95	36.2	36.8	38.1	98	38.7	37.8
7/1	49.9	106	49.7	52.5	59.2	105	56.4	57.9	41.9	94	44.6	47.1	50.0	98	51.0	52.3

平年は2005～2019年の平均値

(2) 病害虫の発生状況

1) うどんこ病

発生はみられているものの、全般には平年より少なかった。

2) 斑点落葉病

全般に発生はほとんどみられなかった。

3) 黒 星 病

6月上旬頃から北信地域を中心に葉の病斑が確認された。発生は平年より少なかった。

4) 赤 星 病

東信地域を中心に発生がみられ、発生は平年並だった。

5) 腐 ら ん 病

枝腐らんがやや多くみられた。

6) ハダニ類

巡回調査ではナミハダニ、リンゴハダニの寄生が散見され、発生程度は平

年並であった。

7) シンクイムシ類

果樹試験場内のモモシンクイガ越冬世代成虫のフェロモントラップへの誘殺状況は第2表のとおりであった。

第2表 モモシンクイガのフェロモントラップ誘殺消長 (須坂市: 果樹試験場)

月・半旬	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
平 年	4.0	9.3	8.9	8.7	7.8	6.0
本 年	0	0	2	8	9	2

平年は過去10年平均値

8) リンゴコカクモンハマキ

果樹試験場内の越冬世代成虫のフェロモントラップへの誘殺状況は第3表のとおりであった。

第3表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長 (須坂市: 果樹試験場)

月・半旬	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
平 年	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本 年	0	0	0	0	0	0

平年は過去10年平均値

9) キンモンホソガ

第1世代成虫の発生時期は平年並で、発生量は多かった。

第4表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長 (須坂市: 果樹試験場)

月・半旬	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
平 年	25.6	52.3	45.7	39.4	33.5	24.2
本 年	55	302	585	591	158	45

平年は過去10年平均値

10) アブラムシ類

新梢や果実で寄生が散見されたが、全般に発生量は平年よりやや少なかった。

4 なし

(1) 生育概況

第1表 なしの果実肥大状況 (高森町: 南信農業試験場) (単位・mm)

品 種	区分	5月15日		6月1日		6月15日		7月1日	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	15.6	17.1	25.7	25.5	32.2	30.7	38.3	35.5
	前年	12.0	12.1	23.9	22.5	29.6	32.2	36.1	38.3
	本年	15.5	14.8	28.4	26.0	35.4	31.6	42.8	37.1

幸 水	平年	14.5	14.0	25.1	22.1	32.5	27.8	40.6	33.8
	前年	12.4	10.9	26.2	22.6	33.7	28.4	42.9	35.2
	本年	12.8	11.4	26.7	22.9	35.5	30.0	44.7	36.8
豊 水	平年	17.3	18.2	26.8	25.8	33.3	31.3	40.3	37.1
	前年	12.2	11.4	24.2	21.4	30.2	27.1	37.8	33.4
	本年	17.1	15.6	30.5	27.4	38.0	33.5	45.7	40.2

平年は1990～2010年の平均値 (幸水は長果枝と短果枝の平均)

(2) 病害虫の発生状況

1) 黒斑病

県予察ほ場の果実や新梢葉への発病はやや多くなった。

第3表 アルタナリア属菌の分生孢子捕捉数 (高森町: 南信農業試験場)

半旬	5月						6月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	2.8	3.0	6.9	8.2	6.4	11.3	14.2	20.8	38.7	28.0	27.1	19.8
前年	1	1	0	2	1	11	21	30	35	22	1	39
<b>本年</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>11</b>	<b>17</b>	<b>10</b>	<b>13</b>	<b>34</b>	<b>27</b>	<b>23</b>	<b>29</b>	<b>14</b>	<b>12</b>

18mm×18mm当たりの孢子数 (個) 平年は過去10年の平均値

第3表 果実の発病 (南信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布)

	5月			6月			7月	
	5日	15日	25日	5日	15日	25日	5日	15日
平年	0.0	0.1	0.2	0.8	2.5	12.4	35.5	68.8
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	11.3	38.0
<b>本年</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>20.1</b>	<b>18.5</b>	<b>48.3</b>	<b>49.8</b>

平年は過去10年平均値

第4表 新梢葉の発病 (南信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布樹)

	5月			6月			7月	
	5日	15日	25日	5日	15日	25日	5日	15日
平年	0.1	0.1	1.0	3.5	7.2	15.8	22.0	31.2
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	8.9	12.8
<b>本年</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>10.1</b>	<b>19.3</b>	<b>31.1</b>	<b>53.9</b>

平年は過去10年平均値

2) 黒星病

巡回調査では6月下旬巡回以降、2ほ場で発生がみられた。県予察ほ場では5月中旬に果実発病がみられ、以降、発病は増加し、7月上旬ではほぼ平年並みとなった。

第5表 果実の発病（高森町：南信農業試験場）

	5月			6月			7月	
	5日	15日	25日	5日	15日	25日	5日	15日
平年	12.6	30.6	39.8	45.3	49.5	58.4	71.0	77.2
昨年	0.0	2.4	4.3	10.9	12.9	20.6	64.3	81.7
<b>本年</b>	<b>0.0</b>	<b>9.5</b>	<b>4.5</b>	<b>21.6</b>	<b>39.1</b>	<b>38.5</b>	<b>71.6</b>	<b>95.7</b>

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査 平年は過去10年平均値

3) 赤星病

巡回調査での発病は1か所でみられた。

4) うどんこ病

巡回調査での発病はみられなかった。

5) 輪紋病

巡回調査での発病はみられなかった。

6) 枝幹性病害（胴枯病・枝枯病）

巡回調査での発病はみられなかった。

7) リンゴコカクモンハマキ

巡回調査で寄生はみられなかった。

第6表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	6・1	2	3	4	5	6	7・1	2
平年	1.6	1.3	0.7	0.3	0.1	0.1	0	0
昨年	0.5	1	1	0	0	0	0	0
<b>本年</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0.5</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

8) ナシヒメシクイ

巡回調査で寄生はみられなかった。

第7表 ナシヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	6・1	2	3	4	5	6	7・1	2
平年	0.4	0.6	0.4	1.4	1.7	1.3	1.6	0.8
昨年	0.5	0	0	4	1	0.5	1	1
<b>本年</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0.5</b>	<b>0.5</b>	<b>1.5</b>	<b>1.5</b>	<b>0</b>	<b>0.5</b>

9) モモシクイガ

巡回調査で寄生はみられなかった。

第8表 モモシクイガのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	6・1	2	3	4	5	6	7・1	2
平年	0	0	0	0	0	0.1	0	0.1
昨年	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>本年</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

10) ハダニ類

巡回調査では6月下旬調査でナミハダニの寄生がみられたが、全般に平年並みであった。

11) アブラムシ類

巡回調査では一部のほ場で発生がみられた。

12) カメムシ類

南信農業試験場の集合フェロモントラップでの7月第2半旬の誘殺数は平年並みであった。

第9表 カメムシ類の誘殺状況（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	6・1	2	3	4	5	6	7・1	2
クサギ								
平年	0.2	0.1	0	0.1	0.4	0	0	0.3
昨年	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>本年</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>
チャバネ								
平年	1.4	1.4	0.8	3.0	2.5	2.8	12.6	10.9
昨年	0	1	0	0	0	8	5	4
<b>本年</b>	<b>13</b>	<b>16</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>5</b>	<b>3</b>

13) クワコナカイガラムシ

第一世代卵のふ化時期（完了期）の予測は、標高560m地帯で7月中下旬の見込みである。

第10表 発育有効積算温度によるクワコナカイガラムシ第1世代卵のふ化完了予測

時 期	本年	平年	昨年	2018	2017	2016
第1世代ふ化完了予測日	7/22	7/20	7/23	7/8	7/20	7/15

平年値：過去10年間の平均気温より算出（高森町：南信農業試験場・標高560m）

起算日：越冬卵ふ化完了日 発育零点：10.5℃ 有効積算温度：640日度

## 5 もも

### (1) 生育概況

第1表 ももの生育状況（須坂市：果樹試験場）

品種	月日	縦径(mm)			横径(mm)			側径(mm)			指数		
		本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
あかつき	6/1	38.7	36.2	35.0	33.9	30.3	30.2	28.6	25.7	25.9	12.2	10.2	10.1
	6/8	44.9	44.2	41.5	42.4	40.1	37.9	37.5	34.7	33.7	18.0	16.6	15.1
	6/15	49.8	48.8	45.5	48.5	45.8	43.1	44.4	40.5	39.3	23.2	21.1	18.9
	6/22	52.6	51.6	48.2	51.9	49.8	46.8	49.5	45.6	43.8	26.8	24.7	22.0
	6/29	55.2	54.9	51.4	56.1	53.9	50.1	54.0	50.5	47.8	30.5	28.8	25.3
	7/6	59.7	58.5	54.7	60.3	57.1	54.3	60.7	55.5	53.0	36.3	33.0	29.6
	7/13		63.3	58.6		61.8	59.0		61.2	59.0		39.1	34.8
川中島白桃	6/1	36.9	31.9	32.7	32.4	27.3	28.1	27.0	22.4	23.7	11.0	8.0	8.8
	6/8	43.7	39.5	40.0	40.8	36.3	36.8	34.5	30.7	31.5	16.5	13.3	13.9
	6/15	48.4	44.6	44.6	46.9	42.2	42.4	40.9	36.0	37.6	21.3	17.5	18.0
	6/22	50.7	47.8	47.1	49.7	46.1	46.2	44.8	40.7	41.5	24.0	20.9	20.8
	6/29	52.8	48.6	48.9	52.4	48.5	48.8	48.1	44.1	44.5	26.6	22.6	22.9
	7/6	55.2	50.8	50.8	55.4	50.7	51.1	52.6	46.6	47.4	28.9	24.8	25.1
	7/13		53.7	53.0		57.5	53.7		49.9	50.8		27.9	27.8

平年値：あかつき(2011年～2018年の平均) 川中島白桃(1985年～2018年の平均)

指数=縦径×(横径+側径)÷2÷100

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) せん孔細菌病

昨年より発生は早く、全般に発生量は多かった。

#### 2) 縮葉病

巡回調査ほ場での発生は、みられなかった。

#### 3) 黒星病

巡回調査ほ場での発生は、みられなかった。

#### 4) 灰星病

巡回調査ほ場での発生は、みられなかった。

#### 5) ハダニ類

巡回調査ほ場での被害葉は、みられなかった。

#### 6) モモハモグリガ

発生量は、平年より少なかった。巡回調査ほ場での被害葉はみられなかった。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（須坂市：果樹試験場）

月・半月	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
平年	89.2	124.4	134.7	96.4	35.8	33.8
本年	4	41	31	39	9	37

平年値は過去10年の平均

#### 7) ハマキムシ類

巡回調査ほ場での発生は、みられなかった。

#### 8) シンクイムシ類

フェロモントラップへの誘殺数は、平年並であった。

## 6 ぶどう

### (1) 生育概況

第1表 ぶどうの果実肥大状況（須坂市：果樹試験場）

品種	月日	縦径(mm)				横径(mm)			
		本年	昨年	平年	平年比	本年	昨年	平年	平年比
巨峰	7/1	23.0	20.4	17.5	131.1	20.4	17.7	15.0	135.7
	7/8	25.8	23.8	21.8	118.3	23.4	21.6	19.1	122.4

平年値は2007年～2019年の平均

### (2) 病害虫の発生状況

#### 1) 灰色かび病

巡回調査ほ場での発病葉、花穂は、みられなかった。

#### 2) ベと病

巡回調査ほ場での発生は、みられなかった。

#### 3) クビアカスカシバ

フェロモントラップでの誘殺は、特に北信地域で平年より早まった。

#### 4) チャノキイロアザミウマ

巡回調査ほ場での被害葉は、みられなかった。

## 7 野菜・花き

### (1) 生育概況

病害では、梅雨入りした中旬以降降水量が多くなったため、レタスの斑点細菌病、アスパラガス茎枯病などの発生がみられた。

虫害では、月を通して平年に比べ高くなったため、アブラナ科野菜でコナガ等のチョウ目害虫などの被害が目立つようになった。

## (2) 病害虫の発生状況

### 1) トマトの病害

巡回調査では、中信地域の一部施設（半促成）栽培ほ場で灰色かび病の発生がみられた。ジュース用トマトほ場では、病害の発生はみられなかった。

### 2) きゅうりの病害

巡回調査では、南信、中信及び北信地域の一部施設（半促成）栽培ほ場でうどんこ病の発生がみられた。また、南信地域の一部施設（半促成）栽培ほ場で褐斑病、灰色かび病の発生がみられた。

露地栽培ほ場では、病害の発生はみられなかった。

### 3) アブラナ科野菜の病害虫

病害では、巡回調査において、東信地域の一部のブロッコリーほ場でべと病の発生がみられた。

虫害では、中信地域の一部のはくさいほ場でアブラムシ類の寄生がみられた。

その他、各地でコナガ、ウワバ類等チョウ目害虫の被害が目立つところがあった。コナガについては後述する。

### 4) レタスの病害虫

病害では、小諸市山浦（県発生予察ほ）において、すそ枯病、斑点細菌病の発生がみられた。

巡回調査において、東北信地域の一部ほ場で斑点細菌病、中信地域の一部ほ場ですそ枯病がみられた。

虫害では、小諸市山浦（県発生予察ほ）において、アブラムシ類の寄生がみられた。

巡回調査において、中信地域の一部ほ場でチョウ目害虫の寄生がみられた。

### 5) アスパラガスの病害虫

病害では、巡回調査において、北信地域の一部ほ場で茎枯病の発生がみられた。

虫害では、巡回調査において、南信及び北信地域の一部ほ場でアザミウマ類、アブラムシ類の寄生がみられた。その他、南信地域の一部ほ場でチョウ目害虫、北信地域の一部ほ場でハダニ類の寄生がみられた。

### 6) たまねぎの病害虫

虫害では、巡回調査において、北信地域の収穫期ほ場においてアザミウマ類及びネギハモグリバエの被害が目立つところがあった。

病害の発生はみられなかった。

## 7) コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、一部地域のキャベツ、ブロッコリー及びはくさいで食害がみられた。

フェロモントラップへの誘殺数は、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）及び長野市（地区発生予察ほ）では6月を通して昨年よりかなり高く推移した。

小諸市山浦（県発生予察ほ）及び原村（防除適期決定ほ）では、第4半旬以降急増した。上田市（地区発生予察ほ）では平年並で推移したが第6半旬に急増した。（第1表）。

第1表 フェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	37	27	7	16	23	1
小諸市山浦（県発生予察ほ）	16	13	7	40	36	26
上田市（地区発生予察ほ）	1	0	0	2	2	25
東筑摩郡朝日村（地区発生予察ほ）	38	21	10	16	10	7
長野市（地区発生予察ほ）	82	94	46	54	60	45
諏訪郡原村（防除適期決定ほ）	9	22	21	53	83	96

## 8) オオタバコガ

巡回調査では、下旬に南信地域の露地栽培（ジュース用）トマトの一部ほ場で幼果への食入被害がみられた。

フェロモントラップへの誘殺数は、全般に平年並であった（第2表）。

第2表 フェロモントラップによるオオタバコガ成虫誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	0	1	8	2	0	0
小諸市山浦（県発生予察ほ）	4	3	5	0	3	2
須坂市（農業試験場）	1	0	3	1	0	0
豊丘村（防除適期決定ほ）	6	13	23	16	11	17

## 9) ヨトウガ類

巡回調査では、南信地域の一部ブロッコリーほ場においてヨトウガの被害が目立つところがあった。

フェロモントラップへのハスモンヨトウの誘殺数は、上田市（地区発生予

察ほ)では第6半旬に急増したが、他の地点では概ね平年並であった。  
また、他のヨトウガ類の誘殺数は概ね平年並であった。

第3表 フェロモントラップによるヨトウガ誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
塩尻市宗賀(県発生予察ほ)	2	6	5	15	4	6
須坂市(農業試験場)	0	0	0	0	0	0

第4表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
塩尻市宗賀(県発生予察ほ)	1	14	15	8	6	4
須坂市(農業試験場)	1	9	10	8	8	6
上田市(地区発生予察ほ)	0	0	2	3	5	27

第5表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
塩尻市宗賀(県発生予察ほ)	2	3	2	0	0	0
長野市(地区発生予察ほ)	0	0	0	0	0	0

10) ハモグリバエ類(野菜・花き全般)

巡回調査では、北信地域の一部の収穫期のたまねぎで寄生がみられた他、中南信地域のねぎでみられた。

11) アブラムシ類(野菜・花き全般)

巡回調査では、トマト(南信地域の施設及び中南信地域の露地栽培の一部)、きゅうり(南信地域の施設栽培)、すいか、はくさい(中信地域)、アスパラガス(北信地域)、きく(南信地域)で寄生がみられた。

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の飛来消長調査では、全般に昨年並であったが、富士見町(地区発生予察ほ)では第4半旬を除き、平年よりかなり多くなった。(第6表)。

第6表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の飛来消長

調査場所	月・半旬					
	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
塩尻市宗賀(県発生予察ほ)	28	8	22	13	15	15
小諸市山浦(県発生予察ほ)	27	17	9	8	4	2
塩尻市洗馬(地区発生予察ほ)	51	9	41	7	32	13
上田市(地区発生予察ほ)	19	24	14	6	3	6
諏訪郡富士見町(地区発生予察ほ)	154	123	352	25	100	88
長野市(地区発生予察ほ)	30	34	23	15	7	10

12) アザミウマ類(ネギアザミウマ、ミカンキイロアザミウマなど)

巡回調査では、トマト(南信地域の施設及び中南信地域の露地栽培の一部)、きゅうり(中信地域の施設及び北信地域の露地栽培の一部)、いちご(東信地域の施設栽培の一部)、アスパラガス(南信及び北信地域の一部)、たまねぎ(北信地域)、ねぎ(中南信地域)でみられた。

青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺消長調査では、全般に平年並であったが、上田市(地区発生予察ほ)で第2半旬、富士見町(地区発生予察ほ)で第3半旬に急増した(第7表)。

第7表 青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺消長

調査場所	月・半旬					
	6・1	6・2	6・3	6・4	6・5	6・6
塩尻市洗馬(地区発生予察ほ)	0	1	14	4	10	17
富士見町(地区発生予察ほ)	29	36	189	11	8	37
上田市(地区発生予察ほ)	8	57	33	16	12	17
長野市(地区発生予察ほ)	6	6	4	4	4	3

13) ハダニ類(野菜・花き全般)

巡回調査では、きゅうり(中南信及び北信地域の一部)、アスパラガス(北信地域の雨除け栽培の一部)でみられた。